



# **Snap Creator**

## の問題に対するトラブルシューティング

### Snap Creator Framework

NetApp  
January 20, 2026

# 目次

Snap Creator の問題に対するトラブルシューティング .....	1
エラー・メッセージの種類およびトラブルシューティング・ログです .....	1
Snap Creator のダンプを実行しています .....	2
Snap Creator の GUI エラーに対するトラブルシューティング .....	3
Snap Creator の GUI に接続できません .....	3
Snap Creator の GUI の起動中にエラーが発生しました .....	3
ネットワークの問題のトラブルシューティング .....	4
セキュリティの問題のトラブルシューティング .....	5
Transport Layer Security の暗号化の欠陥 .....	6
自己署名 SSL 証明書が URL と一致しません .....	6
Snap Creator Framework には CA 署名 SSL 証明書が必要です .....	6
Snap Creator サーバまたは Snap Creator エージェントの問題のトラブルシューティング .....	7
Snap Creator サーバまたはエージェントが起動しません .....	7
Snap Creator エージェントが応答しません .....	8
Snap Creator のパスワードがリセットされました .....	8
CLI コマンドエラーのトラブルシューティング .....	8
CLI コマンドを実行すると、403 Forbidden エラーが発生します .....	8
CLI コマンドを実行すると 404 Not Found エラーが表示されます .....	9
CLI コマンドを実行すると、「500 cannot locate object」エラーが表示されます .....	9
CLI コマンドを実行すると 500 Connect Failed エラーが発生します .....	11
cloneVol は、アグリゲートが存在しないと報告します .....	11
エラーメッセージ .....	12
Snap Creator Framework のエラーメッセージ .....	12
Snap Creator エージェントのエラーメッセージ .....	24
リポジトリエラーメッセージ .....	25
ストレージエラーメッセージ .....	32
Snap Creator の GUI エラーメッセージ .....	40

# Snap Creator の問題に対するトラブルシューティング

Snap Creator の問題のトラブルシューティングには、 Snap Creator のログおよびエラーメッセージの情報を使用します。

## エラー・メッセージの種類およびトラブルシューティング・ログです

Snap Creator では、役立つエラーメッセージとトラブルシューティングログを提供しています。

Snap Creator により提供されるエラーメッセージの種類は次のとおりです。

- \* 情報 \*

標準的な、通常発生する操作の場合。

- \* CMD \*

Snap Creator が（構成に応じて）実行する外部コマンドまたはスクリプトをログに記録し、コマンドまたはスクリプトからのリターンコードを記録します。PRE、POST、アプリケーションの休止または休止解除コマンドのいずれかを表しているのが一般的です。

- \* 出力 \*

Data ONTAPI ライブラリが呼び出されます。

- \* デバッグ \*

を参照してください。

- \* WARN \*

注意を引くための手段ですが、通常は正常なアクティビティとみなされるため、対処は不要です（Snapshot コピーを削除する場合など）。

- \* エラー \*

問題があることを示します。多くの場合、エラーの修正に手動のアクションが必要になります。ERROR メッセージが発生すると、 Snap Creator は終了します。再度実行する前に発生した問題を解決することが重要です。Snap Creator では問題は自動的に修正されませんが、構成ファイルに定義されている PRE\_EXIT\_CMD を使用すれば、 Snap Creator の終了前のアクションを指定できます。

トラブルシューティングログには、 Snap Creator によって実行されるすべての外部コマンドまたはスクリプト（ SnapDrive など）の出力が含まれます。 Snap Creator を通じてその他のスクリプトを呼び出す場合は、それらのスクリプトの終了コードおよび出力を適切にセットアップしておくことが重要です。問題が発生した場合は、ステータス 0 で終了しないでください。

Snap Creator のすべてのプロファイルおよび構成で使用可能なログは次のとおりです。

- \* OUT \*

詳細なロギング情報を指定します。

- \* デバッグ \*

詳細なロギング情報とデバッグロギング情報が含まれます。トレース・メッセージがデフォルト設定である構成ファイルで有効になっている場合は、トレース情報がこのログに表示されます。トレースメッセージを有効にするパラメータは、LOG\_TRACE\_ENABLE - (Y|N) です。

- \* エラー \*

指定された構成のすべてのエラーイベントの履歴が含まれます。エラーログは、過去のエラーに関する情報を確認するのに役立ちます。これにより、ユーザーはイベントを関連付けて履歴を確認できます。Snap Creator と監視アプリケーションを統合する方法として、監視および使用できます。

- \* stderr \*

Snap Creator コードの問題が発生した場合は情報を含みます。ただし、一般に標準のエラーストリームログは空です。

アウトログ、デバッグログ、および stderr ログは、構成ファイルに定義された LOG\_NUM の値に基づいて保持されます。一方エラーログは常に記録されます。すべてのログは /path/to/scServer\_v<#/install\_path/engine/logs/profile ディレクトリに書き込まれます。

Snap Creator エージェントは、必要に応じてアウトログ、デバッグログ、および stderr ログも作成します。このログはデフォルトで有効になっており、パラメータは SC\_AGENT\_LOG\_ENABLE = Y に設定されています

## Snap Creator のダンプを実行しています

Snap Creator の GUI から \* scdump \* を使用して、サポート情報を収集できます。

Snap Creator dump (scdump) は、プロファイルレベルで以下のサポート情報を収集し、.zip ファイルに格納します。

- プロファイルの構成ファイル
  - ログファイル (Output および Debug)
  - その他のログファイル (server.log、GUI.log、SC\_server.log)
  - 次のような環境情報 (scdump)：
    - Snap Creator のバージョン (ビルド情報、日付など)
    - ホストオペレーティングシステムとアーキテクチャ
    - データベースおよびバージョン
    - SnapDrive バージョン
- i. Snap Creator の GUI メインメニューから、\* Management \* > \* Configurations \* を選択します。

ii. プロファイルと構成ペインで、プロファイルを展開し、構成ファイルを選択します。

iii. \* Actions \* > \* scdump \* を選択します。



この処理には数分かかることがあります。scdump オプションは何度も選択しないでください。

iv. .zip ファイルを保存します。

zip ファイル（scdump profile\_date/time.zip）は、エンジンサブディレクトリ内の Snap Creator サーバのインストールディレクトリに保存されます。

## Snap Creator の GUI エラーに対するトラブルシューティング

UNIX 環境では、Snap Creator の GUI へのアクセス時にエラーが発生することがあります。これらのエラーについて理解し、トラブルシューティングの方法を把握しておく必要があります。

### Snap Creator の GUI に接続できません

UNIX 環境では、Snap Creator の GUI に接続できない場合があります。問題の原因を調査する際には、特定の条件が存在することを確認する必要があります。

- \* 問題 \*

UNIX 環境では、Snap Creator の GUI に接続することはできません。

- \* 是正措置 \*

次の点を確認します。

- ° URL は HTTPS で始まる必要があります。



HTTPS ではなく HTTP を使用すると「ページに何も表示されないか」または "?" が表示されます 使用するブラウザによって異なります。

- ° URL に正しいポート番号が使用されており、選択したポートを他に何も使用していないこと。

別のポートを選択しようとすると、

- ° 通信は、オペレーティングシステムのファイアウォールを介して許可されます。

### Snap Creator の GUI の起動中にエラーが発生しました

UNIX 環境では、Snap Creator の GUI の起動時にエラーが発生することがあります。

- \* 問題 \*

UNIX 環境では、Snap Creator の GUI を起動すると、HTTP エラー 503 が表示されます。たとえば、

HTTP エラー 503 Problem access/ です。理由： SERVICE\_UNAVAIYAINAVAI

- \* 原因 \*

このエラーメッセージは、一時ファイルを保存するスペースが不足している場合に受信する可能性があります。

- \* 是正措置 \*

対応するオペレーティングシステムフォルダの temp フォルダに、十分なスペースがあるか確認してください。

例：Linux 環境で、 /tmp を確認します。

## ネットワークの問題のトラブルシューティング

Snap Creator で、認証エラーなどのネットワークの問題が発生する可能性があります。これらの問題について理解し、トラブルシューティングの方法を把握しておく必要があります。

- \* 問題 \*

Snap Creator 内で認証エラーの問題が発生する。

- \* 原因 \*

認証エラーの原因には、設定、ファイアウォールの権限、または Network Address Translation （NAT; ネットワークアドレス変換）などがあります。

- \* 是正措置 \*

次の点を確認します。

- IP/Host 名

host equiv を使用する場合を除き、コントローラ上で hostname コマンドを実行した際に返されるストレージシステム名は、Snap Creator の構成ファイルで指定した名前と同一である必要があります。

ストレージシステムのホスト名が短縮されている場合は、Fully Qualified Domain Name (FQDN ; 完全修飾ドメイン名) を使用しないでください。

IP の解決方法が指定した名前と一致することを確認します。不一致がある場合は、ストレージ・システムの host equiv を使用して修正します。

host equiv を有効化するには、次の手順を実行します。

- i. 次のコマンドを入力します。 options https.admin.hostsequiv.enable on
  - ii. /etc/hostsequiv のファイルを編集し、次を追加します。 IP/Host\_name\_in\_SnapCreator config\_fileSnapCreator\_Creator\_user
- NetApp Management Console のデータ保護機能

Snap Creator の構成パラメータ VOLUMES に定義されているストレージコントローラの名前は、NetApp Management Console のデータ保護機能のストレージコントローラの名前と一致する必要があります。ストレージコントローラの名前が一致しない場合は、オペレーティングシステムのホストファイルを使用して、ストレージコントローラの名前を強制的に一致させることができます。

- ファイアウォール：

Snap Creator を実行するホストとストレージシステムの間にファイアウォールがある場合には、双方の Access Control List (ACL ; アクセス制御リスト) を用意し、ポートの 80 と 443 のいずれか、または両方をオープンにする必要があります。

- 80 : HTTP が選択されている場合に、ストレージシステムとの通信に使用されます
- 443 : Linux 、 Solaris 、 AIX のいずれかで HTTPS (443) を使用するように HTTPS を選択した場合にストレージシステムとの通信に使用するために、 SSL を使用するために必要な openssl ライブラリをインストールします。

Snap Creator エージェントが実行されている場合は、エージェントが実行されているポートがオープンである必要があります。少なくとも非特権ポートでは、ストレージシステムからのリターントラフィックが、 Snap Creator を実行しているシステムに確実に到達できるようにします。

- Snap Creator Framework は、 SSL が無効な場合、 TLS を使用して 7-Mode の clustered Data ONTAP と Data ONTAP の両方と通信できます。

Snap Creator Framework では、ホストとストレージシステムの SSLv3 を無効にすることができます。

- AIX 、 UNIX 、または Windows で SSLv3 を無効にするには、 java.security ファイルで JDK.tls.disableAlgorithms パラメータを次のように更新します。

JDK.tls.disableAlgorithms = SSLv3

java.security ファイルは、 /java/jre/lib/security/ というパスにあります

- ストレージシステムで SSLv3 を無効にするには、 system service web modify コマンドを実行し、次のパラメータを設定します。

TLSv1 が有効 : true

SSLv3 が有効 : false

SSLv2 が有効になっている : false

- NAT

NAT を使用する場合は、送信元 / 宛先 IP アドレスが Transmission Control Protocol (TCP) パケット内で変更されていないことを確認します。ホストおよびストレージシステムは、通信相手を認識する必要があります。実際のホストやコントローラの IP アドレスではなくファイアウォールの IP アドレスを指定すると、原因で問題が発生する可能性があります。

## セキュリティの問題のトラブルシューティング

Snap Creator のセキュリティの問題とそのトラブルシューティング方法を理解しておく

必要があります。

## Transport Layer Security の暗号化の欠陥

- \* 問題 \*

TLS 1.0 には暗号化の欠陥がいくつかあります。攻撃者は、この脆弱性を悪用して、中間者攻撃を実行したり、影響を受けるサービスとクライアント間の通信を復号化したりする可能性があります。

- \* 原因 \*

リモートサービスは、TLS 1.0 を使用して暗号化された接続を受け入れます。

- \* 是正措置 \*

Snap Creator には、TLS 1.0 プロトコルを有効または無効にするオプションがあります。

- a. 下位互換性をサポートするには、snapcreator.properties ファイルと agent.properties ファイルで enable\_security\_protocol\_tls\_V1 パラメータを Y に設定します。enable\_security\_protocol\_ttls\_V1 パラメータはデフォルトで N に設定されています。



enable\_security\_protocol\_ttls\_V1 パラメータは、Snap Creator Framework 4.3.3 より前のリリースでのみ使用できます。Snap Creator Framework 4.3.3 が原因で発生する問題です。リリースでサポートされるのは Oracle Java と OpenJDK 1.8 以降のみです。TLS 1.0 のサポートは Snap Creator Framework から削除されました。

## 自己署名 SSL 証明書が URL と一致しません

- \* 問題 \*

Snap Creator Framework で提供される自己署名 SSL 証明書が URL と一致しません。

- \* 原因 \*

Snap Creator サービスで提供されている SSL 証明書の Common Name (CN; 共通名) は別のマシン用であるため、ホスト名とは一致しません。

- \* 是正措置 \*

Snap Creator サーバおよび Snap Creator エージェントのインストール時に、ホスト名を解決するためのシステム IP パラメータが導入されました。

- a. System IP オプションで、Snap Creator Framework がインストールされているシステム IP アドレスを入力します。
  - SSL 証明書の共通名は、同じ IP アドレスを使用して作成できます。

## Snap Creator Framework には CA 署名 SSL 証明書が必要です

- \* 問題 \*

Snap Creator Framework には、認証局 (CA) が署名した SSL 証明書が必要です。

- \* 原因 \*

サーバの X.509 証明書に、既知のパブリック証明機関からの署名がありません。

- \* 是正措置 \*

Snap Creator Framework では、サードパーティの証明書のインストールがサポートされます。

- a. snapcreator.properties ファイルと agent.properties ファイルで、次のパラメータ値を更新します。

snapcreator.properties ファイル：

SNAPCREATOR\_keystore.pass

SNAPCREATOR\_keystore.path

agent.properties ファイル：

keystore.file で保存されます

keystore\_pass のユーザ

- a. サーバとエージェントサービスを再起動します。

## **Snap Creator サーバまたは Snap Creator エージェントの問題のトラブルシューティング**

Snap Creator サーバまたは Snap Creator エージェントで問題が発生する可能性があります。これらの問題について理解し、トラブルシューティングの方法を把握しておく必要があります。

### **Snap Creator サーバまたはエージェントが起動しません**

Snap Creator サーバまたは Snap Creator エージェントが起動しないことがあります。

- \* 問題 \*

Snap Creator サーバまたは Snap Creator エージェントは起動しません。

- \* 原因 \*

この問題の一般的な原因是、Java がインストールされていないか、Java のビットレベルが正しくインストールされていないか、インストールされている Java のバージョンが正しくないことです。

- \* 是正措置 \*

次のコマンドを実行して、Java がインストールされていることを確認します。 `java -version`

サポートされているバージョンの Java がインストールされていることを確認します。

また、インストールされている Java のビットレベルが Snap Creator のビットレベルと一致していることを確認してください。たとえば、64 ビットの Snap Creator がインストールされている場合は、64 ビットの Java もインストールする必要があります。

## Snap Creator エージェントが応答しません

Snap Creator エージェントが応答していません。

- \* 問題 \*

Snap Creator エージェントが応答していません。

- \* 是正措置 \*

次の点を確認します。

- Snap Creator エージェントが実行されています。
- 選択したポートはまだ使用されていません。
- エージェントポート上の通信は、ファイアウォールを介して許可されます。

## Snap Creator のパスワードがリセットされました

Snap Creator のパスワードを忘れた場合は、パスワードをリセットできます。

Snap Creator のパスワードをリセットするには

1. scServer/engine/etc フォルダに移動します。
2. snapcreator.properties ファイルを編集します。
3. SNAPCREATOR\_PASSPASS パラメータに新しいパスワードを入力します。



パスワードはプレーンテキストで指定できます。パスワードは自動的に暗号化されます。

4. [ 保存 ( Save ) ] をクリックします。

## CLI コマンドエラーのトラブルシューティング

CLI コマンドの実行時に発生する可能性があるエラーと、そのトラブルシューティング方法を理解しておく必要があります。

### CLI コマンドを実行すると、403 Forbidden エラーが発生します

UNIX 環境では、CLI コマンドの実行時に 403 Forbidden エラーが発生することがあります。

- \* 問題 \*

UNIX 環境では CLI コマンドを実行しようとしたにもかかわらず、次の例に示すように 403 Forbidden エラーが発生しました。

```
403 Forbidden at
//scServer4.1.0/snapcreator>SnapCreator/Service/Engine.pm line 152
```

- \* 原因 \*

このエラーは、通常、 Snap Creator のユーザ名またはパスワードが正しくないために権限が拒否された場合に発生します。

- \* 是正措置 \*

正しい Snap Creator のユーザ名とパスワードを使用していることを確認してください。

## CLI コマンドを実行すると 404 Not Found エラーが表示されます

UNIX 環境では、 CLI コマンドを実行したときに 404 Not Found エラーが発生することがあります。

- \* 問題 \*

UNIX 環境では CLI コマンドを実行しようとしたにもかかわらず、 404 Not Found エラーが発生します。例：

```
404 Not Found at
//local/scServer4.1.0c/snapcreator>SnapCreator/Service/Engine.pm line
152
```

- \* 原因 \*

このエラーは、通常、 Snap Creator 以外で選択したポートを使用している場合に発生します。

- \* 是正措置 \*

選択したポートで Snap Creator が実行されていること、およびこのポートを他に使用しているものがないことを確認してください。

## CLI コマンドを実行すると、「 500 cannot locate object 」エラーが表示されます

UNIX 環境で、 CLI コマンドの実行後に「 500 cannot locate object 」というエラーが表示されることがあります。

- \* 問題 \*

UNIX 環境で CLI コマンドを実行しようとしたにもかかわらず、次の例に示すように 500 cannot locate object エラーが表示される。

```
500 Can't locate object method "new" via package  
"LWP::Protocol::https::Socket"
```

- \* 原因 \*

このエラーメッセージには次の 2 つの原因が考えられます。

- このエラーメッセージの最も可能性の高い原因是、CLI SSL ライブラリがリンクされていないことです。
- エラーメッセージが SSL ライブラリがリンクされていないために表示された場合は、別の原因に HTTPS Perl ライブラリがない可能性があります。

- \* 是正措置 \*

問題にリンクするライブラリファイルを解決するには、`simlinks` を手動で作成する必要があります。オペレーティングシステム管理者に問い合わせて、`libssl.so` および `libcrypto.so` ファイルが存在することを確認します。SSL パッケージのインストールが必要になる場合があります。

ファイルが存在する場合は、ファイルを手動でリンクする必要があります。これを行うには、使用しているオペレーティングシステムに応じて、次のいずれかのコマンドセットを実行します。

- 32 ビットの場合：

```
cd /usr/lib  
ln -s libssl.so.1.0.0 libssl.so.6  
ln -s libcrypto.so.1.0.0 libcrypto.so.6
```

- 3264 の場合：

```
cd /usr/lib64  
ln -s libssl.so.1.0.0 libssl.so.6  
ln -s libcrypto.so.1.0.0 libcrypto.so.6
```

- \* 是正措置 \*

欠落している HTTPS Perl ライブラリ問題を解決するには 'CPAN モードから `LWP::Protocol::https` ライブラリをインストールします

次の手順を実行します。

- a. Linux サーバの SSH セッションを開き、次のコマンドを実行します。`perl-mcpan-e shell`



CPAN を初めて使用した場合は、次のプロンプトが表示されます。

```
Would you like me to configure as much as possible automatically? [yes]
```

+ Enter キーを押して、デフォルトを受け入れます。CPAN シェルが開きます。

- 次のコマンドを実行します `install LWP::Protocol: https`

必要なパッケージがダウンロードされてインストールされます。追加のパッケージが必要な場合は、`[yes]` を選択してインストールするように求められます。

- インストールが完了したら、`exit` と入力して通常のシェルに戻ります。

## CLI コマンドを実行すると **500 Connect Failed** エラーが発生します

UNIX 環境で CLI コマンドを実行するときに、**500 Connect Failed** というエラーが発生することがあります。

- \* 問題 \*

UNIX 環境では、CLI コマンドを実行しようとしたが、**500 Connect Failed** というエラーが発生します。例：

```
500 Connect failed: connect: Connection refused; Connection refused at  
//scServer4.1.0/snapcreator>SnapCreator/Service/Engine.pm line 152
```

- \* 原因 \*

このエラーは、通常、Snap Creator が選択されたポートでリスンしていない場合に発生します。

- \* 是正措置 \*

選択したポートで Snap Creator が実行されていることを確認してください。

## cloneVol は、アグリゲートが存在しないと報告します

clustered Data ONTAP では、クローニングを行うために、アグリゲートを Storage Virtual Machine (SVM) に割り当てる必要があります。見つからない場合、`cloneVol` アクションがエラーを返すことがあります。

- \* 問題 \*

`cloneVol` アクションは、次の例に示すようなエラーを返します。

```
ERROR: com.netapp.snapcreator.storage.executor.ZapiExecutorException:  
netapp.manage.NaAPIFailedException: Aggregate [aggregate name] does not  
exist (errno=14420)
```

- \* 原因 \*

クローニング目的でアグリゲートが SVM に割り当てられませんでした。

- \* 是正措置 \*

クローニングするためにアグリゲートを SVM に割り当てます。 vserver modify -vserver [vserver\_name] -aggr-list [aggregate\_name]

## エラーメッセージ

さまざまな Snap Creator の処理に関するエラーメッセージに注意する必要があります。

各エラーメッセージには、エリアコードと一緒に 5 行の識別子が含まれています。たとえば、次のようになります。 error : [<area code> - <unique area error identifier>] <error message>。エリアコードは、エラーが発生した場所を識別します。各エリアコードは次のとおりです。

- 「cf」 : Snap Creator Framework
- re PO: リポジトリ
- 「ストレージ」 : ストレージ
- agt : Snap Creator エージェント
- `GUI: Snap Creator のグラフィカルユーザインターフェイス ( GUI )

### Snap Creator Framework のエラーメッセージ

Snap Creator Framework のエラーメッセージは、発生した問題のトラブルシューティングに役立ちます。

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
SCF-00001	シリアル番号 [%s] を取得できませんでした。	Snap Creator setup コマンドは実行されません。 snapcreator --profile setup コマンドを実行してください。シリアル番号が空白であるか、数値に設定されていることを確認します。
SCF-00002	プラグイン [%s] のバックアップ処理がエラー [%s] で失敗し、終了コード [%s] を終了しました。終了します。	アプリケーションエラーによりアプリケーションのバックアップに失敗しました。ログとアプリケーション設定を確認してください。
SCF-00003	プラグイン [%s] のバックアップクリーンアップ処理が、エラー [%s] および終了コード [%s] で失敗しました。終了します。	アプリケーションエラーにより、アプリケーションバックアップのクリーンアップに失敗しました。ログとアプリケーション設定を確認してください。

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
SCF-00004	プラグイン [%s] のクローン処理がエラー [%s] で失敗し、終了コード [%s] を終了しました。終了します。	アプリケーションエラーによりアプリケーションのクローニングに失敗しました。ログとアプリケーション設定を確認してください。
SCF-00005	プラグイン [%s] のクローンクリーンアップ処理がエラー [%s] で失敗し、終了コード [%s] を終了しました。終了します。	アプリケーションエラーによりアプリケーションクローンのクリーンアップに失敗しました。ログとアプリケーション設定を確認してください。
SCF-00006	[%s] のクローン前処理がエラー [%s] で失敗し、終了コード [%s] を終了しました。終了します。	アプリケーションエラーによりクローニング前処理に失敗しました。ログとアプリケーション設定を確認してください。
SCF-00007	プラグイン [%s] のクローン後の処理がエラー [%s] で失敗し、終了コード [%s] を終了しました。終了します。	アプリケーションエラーによりクローニング後のアプリケーション処理に失敗しました。ログとアプリケーション設定を確認してください。
SCF-00008	[%s] の LUN igrup マッピングを[%s] の igrup [%s] にクローニングできませんでした。終了します。	LUN クローンの igrup マッピングに失敗しました。エラーログをチェックしてください。NetApp Manageability SDK 解決策エラーが発生する可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
SCF-00009	データセット [%s] の NetApp Management Console バックアップリストの終了に失敗しました。終了コード [%s] があります。終了します。	Snap Creator が NetApp Management Console でバックアップの削除処理を開始しましたが、Snapshot コピーのリストを表示できませんでした。Snap Creator がバックアップを登録していることを確認し、NTAP_PM_UPDATE パラメータと NTAP_DFM_DATA_SET パラメータの設定をチェックしてください。

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
SCF-00010	NetApp Management Console のバックアップアプリストが定義されていません。データセット [%s] のバックアップは存在しません。終了します。	Snap Creator が NetApp Management Console でバックアップの削除処理を開始しましたが、Snapshot コピーが存在します。Snap Creator がバックアップを登録していることを確認し、NTAP_PM_UPDATE パラメータと NTAP_DFM_DATA_SET パラメータの設定をチェックしてください。
SCF-00011	NetApp 管理コンソールのバックアップバージョン ID [%s] のタイムスタンプ [%s] データセット [%s] の削除が、終了コード [%s] で失敗しました。終了します。	Snap Creator がバックアップを登録していることを確認し、NTAP_PM_UPDATE パラメータと NTAP_DFM_DATA_SET パラメータの設定をチェックしてください。
SCF-00012	データセット [%s] の NetApp Management Console データセットステータスの取得に失敗しました。終了コード [%s] があります。終了します。	データセットが存在し、ステータスが Conformant であることを確認します。また、データセットが Snap Creator によって作成されていることも確認します。Snap Creator によって作成されていないデータセットは、アプリケーションデータセットではありません。これらのデータセットは機能しません。
SCF-00013	Snapshot コピーをデータセット [%s] の終了コード [%s] に登録できませんでした。	NTAP_PM_UPDATE パラメータと NTAP_DFM_DATA_SET パラメータの設定をチェックしてください。
SCF-00014	[%s] ( [%s] ) の NetApp Management Console バックアップの開始に失敗しました。終了します。	NTAP_PM_UPDATE パラメータと NTAP_DFM_DATA_SET パラメータの設定をチェックしてください。
SCF-00015	ジョブ ID [%s] の NetApp Management Console バックアップがエラーで終了しました - [%s]	[%s]

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
[%s]	[%s]	Snap Creator が NetApp Management Console のバックアップを開始しましたが、バックアップ処理の進捗状況の取得に失敗しました。NTAP_PM_UPDATE パラメータと NTAP_DFM_DATA_SET パラメータの設定をチェックしてください。
SCF-00016	[%s] の SnapMirror ステータスが失敗しました。終了します。	Snap Creator で、指定されたコントローラの SnapMirror 関係が見つかりませんでした。ストレージコントローラにログインし、snapmirror status コマンドを実行して、関係が存在することを確認してください。
SCF-00017	[%s] の SnapMirror 関係 : [%s] は存在しません。終了します。	Snap Creator で、指定されたコントローラボリュームの SnapMirror 関係が見つかりませんでした。ストレージコントローラにログインし、snapmirror status コマンドを実行して、特定のコントローラ名の関係が存在することを確認してください。異なる名前を使用している場合は、SECONDARY INTERFACES パラメータを設定して、ストレージコントローラに何をマッピングするかを Snap Creator で指定する必要があります。
SCF-00018	[%s] の SnapVault ステータスリストが失敗しました。終了します。	Snap Creator で、指定されたコントローラの SnapVault 関係が見つかりませんでした。ストレージコントローラにログインし、SnapVault status コマンドを実行してください。SnapVault 関係が存在することを確認してください。

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
SCF-00019	[%s] の SnapVault 関係 : [%s] は存在しません。終了します。	Snap Creator で SnapVault 関係が見つかりませんでした。ストレージコントローラにログインして、SnapVault status コマンドを実行してください。指定したコントローラ名の SnapVault 関係が存在することを確認してください。異なる名前を使用している場合は、SECONDARY_INTERFACES パラメータを設定して、ストレージコントローラに何をマッピングするかを Snap Creator で指定する必要があります。
SCF-00020	デスティネーション [%s] でソース [%s] を使用した SnapVault 更新の実行に失敗しました。	Snap Creator は SnapVault の更新を開始できませんでした。ストレージコントローラにログインし、SnapVault status コマンドを実行します。指定したコントローラ名の SnapVault 関係が存在することを確認してください。異なる名前を使用している場合は、SECONDARY_INTERFACES パラメータを設定して、ストレージコントローラに何をマッピングするかを Snap Creator で指定する必要があります。
SCF-00021	SnapMirror 転送エラーが検出されました - [%s]、終了します。	エラーおよび SnapMirror のストレージコントローラ設定をチェックします。
SCF-00022	ソース [%s] での SnapMirror 更新を [%s] 分以内に完了できませんでした。終了します。	SnapMirror の更新に、設定されている待機時間より長い時間がかかりました。構成ファイルの NTAP_SNAPMIRROR_WAIT の値を増やすことで、待機時間を調整できます。
SCF-00023	ソース [%s] での SnapVault 更新は [%s] 分後に完了できませんでした。終了します。	SnapVault の更新に、設定されている待機時間より長い時間がかかりました。構成ファイルの NTAP_SNAPVAULT_WAIT の値を増やすことで、待機時間を調整できます。
SCF-00024	SnapVault 転送エラーが検出されました - [%s]、終了します。	エラーおよび SnapVault のストレージコントローラ設定を確認します。

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
SCF-00025	プラグイン [%s] のリストア後の処理がエラー [%s] および終了コード [%s] で失敗しました。	アプリケーションエラーにより、アプリケーションのリストア後の処理に失敗しました。ログとアプリケーション設定を確認してください。
SCF-00026	プラグイン [%s] のリストアクリーンアップ処理がエラー [%s] で失敗しました。終了コード [%s]	アプリケーションエラーにより、アプリケーションのリストアクリーンアップ処理に失敗しました。ログとアプリケーション設定を確認してください。
SCF-00027	プラグイン [%s] のリストア前処理がエラー [%s] および終了コード [%s] で失敗しました。	アプリケーションエラーにより、アプリケーションのリストア前の処理に失敗しました。ログとアプリケーション設定を確認してください。
SCF-00028	プラグイン [%s] の自動検出に失敗しました。エラー [%s]、終了コード [%s]、終了します。	アプリケーションエラーによりアプリケーション検出に失敗しました。ログとアプリケーション設定を確認してください。また、自動検出は APP_AUTO_DISCOVERY = N に設定し VALIDATE_VOLUMES をコメントアウトすることで無効に設定できます。
SCF-00029	環境が空のため、プラグイン [%s] の自動検出に失敗しました。終了します。	アプリケーションプラグインは、自動検出の使用をサポートしていません。APP_AUTO_DISCOVERY = N に設定し、自動検出を無効に設定してください
SCF-00030	プラグイン [%s] のファイルシステムの休止に失敗しました。エラー [%s]、終了コード [%s]、終了します。	ファイルシステムエラーにより、ファイルシステムの休止に失敗しました。ログとファイルシステムの設定を確認してください。エラーを無視しバックアップを続行するには、APP_IGNORE_ERROR=Y に設定します

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
SCF-00031	プラグイン [%s] のファイルシステム休止中にエラーが発生しました。終了コード [%s] を終了し、バックアップを続行しています。	ファイルシステムエラーにより、ファイルシステムの休止に失敗しました。ただし、APP_IGNORE_ERROR=Y と設定されています。Snap Creator はバックアップを続行します。ログとファイルシステムの設定を確認してください。
SCF-00032	アプリケーションエラーによりアプリケーション休止解除に失敗しました。アプリケーションエラーを無視しバックアップを続行するには、APP_IGNORE_ERROR=Y に設定します	ログとアプリケーション設定を確認してください。
SCF-00033	プラグイン [%s] のアプリケーション休止解除に終了コード [%s] が失敗しました。バックアップを続行しています。	アプリケーションエラーにより、アプリケーションの休止解除に失敗しました。ただし、APP_IGNORE_ERROR=Y と設定されており、Snap Creator はバックアップを続行します。ログとアプリケーション設定を確認してください。
SCF-00034	[%s] ([%s]) から [%s] ([%s]) への LUN クローンの作成に失敗しました。終了します。	LUN クローンの作成に失敗しました。エラーログをチェックしてください。NetApp Manageability エラーが発生する可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
SCF-00035	[%s] の LUN のインベントリに失敗しました。終了します。	LUN リストの作成に失敗しました。エラーログをチェックしてください。NetApp Manageability エラーが発生する可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
SCF-00036	プラグイン [%s] のアプリケーション休止に失敗しました。プラグインから終了コードが返されませんでした。終了します。	アプリケーションの休止が終了コードなしで終了しました。ログとアプリケーション設定を確認してください。

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
SCF-00037	プラグイン [%s] のアプリケーション休止に失敗しました。エラー [%s]、終了コード [%s]、終了します。	アプリケーションエラーによりアプリケーションの休止に失敗しました。ログとアプリケーション設定を確認してください。アプリケーションエラーを無視しバックアップを続行するには、APP_IGNORE_ERROR=Y に設定します
SCF-00038	プラグイン [%s] のアプリケーション休止に終了コード [%s] が失敗しました。バックアップを続行しています。	アプリケーションエラーによりアプリケーションの休止に失敗しました。ただし、APP_IGNORE_ERROR=Y と設定されており、Snap Creator はバックアップを続行します。ログとアプリケーション設定を確認してください。
SCF-00039	指定したコントローラ [%s] が構成に指定されたコントローラと一致しませんでした。構成ファイルで NTAP_USERS パラメータをチェックしてください。	NTAP_USERS をチェックし、構成ファイルにストレージコントローラが定義されていることを確認してください。
SCF-00040	指定したボリューム [%s] が、設定で指定されたストレージシステムまたはボリュームと一致しませんでした。構成ファイルで VOLUMES パラメータをチェックしてください。	構成ファイルで VOLUMES の設定をチェックし、正しいコントローラボリュームが設定されていることを確認します。
SCF-00041	clustered Data ONTAP が検出されました が、CMODE_CLUSTER_NAME が正しく設定されていません。設定パラメータを確認して終了します。	AutoSupport と SnapMirror には、CMODE_CLUSTER_NAME パラメータを使用する必要があります。このパラメータは構成ファイルで正しく定義する必要があります。
SCF-00042	clustered Data ONTAP が検出されました が、CMODE_CLUSTER_USERS が正しく設定されていません。設定パラメータを確認して終了します。	AutoSupport と SnapMirror には、パラメータ CMODE_CLUSTER_NAME および CMODE_CLUSTER_USERS を使用する必要があります。これらのパラメータは構成ファイルで正しく定義する必要があります。

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
SCF-00043	clustered Data ONTAP では SnapVault はサポートされません。構成で NTAP_SNAPVAULT_UPDATE を N に設定します。	構成を確認し、パラメータを変更してください。clustered Data ONTAP は SnapVault をサポートしていません。
SCF-00044	META_DATA_VOLUME パラメータは定義されますが、ストレージシステム：指定されたボリュームは VOLUMES パラメータで設定されている内容と一致しません。構成を確認します。	META_DATA_VOLUME パラメータは、ボリュームには指定されていません。ボリュームにメタデータボリュームを追加します。
SCF-00045	META_DATA_VOLUME パラメータは定義されますが、VOLUMES パラメータで指定されている唯一のボリュームにすることはできません。メタデータボリュームは別のボリュームである必要があります。	META_DATA_VOLUME に指定されたボリュームは、VOLUMES に存在する唯一のボリュームです。他のボリュームも存在する必要があります。META_DATA_VOLUME は、通常の Snapshot 処理には使用しないでください。
SCF-00046	NetApp Management Console では、タイムスタンプ Snapshot コピーのみがサポートされます。	構成ファイルを更新し、SNAP_TIMESTAMP_ONLY オプションを Y に設定します
SCF-00047	互換性のない設定が選択されています。NTAP_SNAPVAULT_UPDATE オプションと NTAP_SNAPVAULT_SNAPSHOT オプションの両方を有効にすることはできません	構成ファイルを編集し、2つのオプションのいずれかを無効にします。
SCF-00048	プラグイン [%s] のマウント処理がエラー [%s] で失敗し、終了コード [%s] を終了しました。終了します。	アプリケーションエラーによりアプリケーションのマウントに失敗しました。ログとアプリケーション設定を確認してください。
SCF-00049	プラグイン [%s] のアンマウント処理がエラー [%s] で失敗し、終了コード [%s] を終了しました。終了します。	アプリケーションエラーによりアプリケーションのアンマウントに失敗しました。ログとアプリケーション設定を確認してください。

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
SCF-00050	カスタムアクションはアプリケーションプラグインでのみサポートされます	構成ファイルに APP_NAME パラメータが設定されていません。このパラメータは、使用するプラグインを決定します。カスタムアクションは、アプリケーションプラグインでのみサポートされます。
SCF-00051	[%s] の NetApp Management Console データセットの作成に失敗しました。終了コードは [%s] です。終了します。	デバッグエラーメッセージを確認します。Active IQ Unified Manager サーバとの通信中に問題が発生する可能性があります。
SCF-00052	プラグイン [%s] のリストア処理がエラー [%s] 終了コード [%s] で失敗しました。終了します。	アプリケーションエラーによりリストアに失敗しました。ログとアプリケーション設定を確認してください。
SCF-00053	プラグイン [%s] のファイルシステムの休止解除に失敗しました。エラー [%s] 、終了コード [%s] 、終了します。	ファイルシステムエラーにより、ファイルシステムの休止解除に失敗しました。ただし、APP_IGNORE_ERROR=Y と設定されており、 Snap Creator はバックアップを続行します。ログとファイルシステムの設定を確認してください。
SCF-00054	プラグイン [%s] のファイルシステムの休止解除でエラーが発生しました。終了コード [%s] を終了し、バックアップを続行しています。	ファイルシステムエラーにより、ファイルシステムの休止解除に失敗しました。ただし、APP_IGNORE_ERROR=Y と設定されており、 Snap Creator はバックアップを続行します。ログとファイルシステムの設定を確認してください。
SCF-00055	NetApp Management Console がバックアップ [%s] (データセット [%s]) をストレージコントローラ [%s] でポリシー [%s] で駆動しました。	該当なし
SCF-00056	データセット [%s] の NetApp Management Console ベースのバックアップ [%s] をストレージコントローラ [%s] にポリシー [%s] で作成しました	該当なし

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
SCF-00057	データセット [%s] の NetApp Management Console ベースのバックアップ [%s] をストレージコントローラ [%s] でポリシー [%s] で作成できませんでした。エラー [%s] が発生しました。	NTAP_PM_UPDATE パラメータと NTAP_DFM_DATA_SET パラメータの設定をチェックしてください。
SCF-00058	アプリケーションで検出された値を使用して設定を更新できませんでした。 [%s] 、終了します。	権限の問題またはアプリケーションから返された値を解析できなかったため、ファイルを更新できませんでした。 Snap Creator を実行しているユーザの権限をチェックし、その権限が正しいことを確認してください。
SCF-00059	[%s] プラグイン [%s] のダンプが終了コード [%s] で失敗しました。終了します。	アプリケーションエラーにより、 scdump アクションに失敗しました。ログとアプリケーション設定を確認してください。
SCF-00060	無効な DTO : [%s]	DTO の必須フィールドが設定されていないか無効です。これが原因で DTO の処理時に検証エラーが発生しました。問題を修正して、 DTO を再送信してください。
SCF-00061	アーカイブログの削除に失敗しました。エラー [%s] が発生しました。終了します。	Snap Creator はアプリケーションのアーカイブログを削除できませんでした。 Snap Creator ユーザの権限をチェックしてください。構成に応じて、 Snap Creator サーバまたは Snap Creator エージェントであることが必要です。
SCF-00062	認証に失敗しました。	ユーザに処理を実行する権限がないため、認証に失敗しました。
SCF-00063	[%s] の検出に失敗しました。戻りコード [%s] とメッセージ [%s] があります。	アプリケーションエラーにより、 VALIDATE_VOLUMES=DATA を使用するアプリケーション検出に失敗しました。ログとアプリケーション設定を確認してください。

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
SCF-00064	検出でストレージオブジェクトが検出されませんでした	VALIDATE_VOLUMES=DATA を使用するアプリケーション検出に失敗しました。Snap Creator は、ストレージシステムにあるデータボリュームを検出できませんでした。自動検出を無効にするには、VALIDATE_VOLUMES をコメントアウトします。
SCF-00065	ボリューム [%s] ( [%s]、[%s] ) は構成ファイルに含まれていません	アプリケーション検出により、一部のボリュームがないことが検出されました。欠落しているボリュームがバックアップに含まれるよう、それらのボリュームを VOLUMES パラメータに追加します。
SCF-00066		設定されたエージェントにアクセスできません。エージェントが停止しているか、ローカルファイアウォールの問題が存在する可能性があります。構成パラメータ SC_AGENT をチェックしてください。
SCF-00067	[%s] の外部 Snapshot コピーを名前パターン [%s] でリストできませんでした。	Snap Creator は、正規表現パターン NTAP_EXTERNAL_SNAPSHOT_REGEXに基づいて外部の Snapshot コピーを検出できませんでした。コントローラにログインし、snap list の出力と regex パターンを照合します。
SCF-00068	プラグイン [%s] のファイルシステム Pre_restore が終了コード [%s] で失敗しました。終了します。	ファイルシステムエラーにより、ファイルシステムのリストア前の処理に失敗しました。ログとファイルシステムの設定を確認してください。
SCF-00069	プラグイン [%s] のファイルシステム Pre_restore でエラー終了コード [%s] が発生しました。バックアップを続行しています。	ファイルシステムエラーにより、ファイルシステムのリストア前の処理に失敗しました。ただし、APP_IGNORE_ERROR=Y と設定されており、Snap Creator は他の処理を続行します。ログとファイルシステムの設定を確認してください。

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
SCF-00070	プラグイン [%s] のファイルシステム post_restore が終了コード [%s] で失敗しました。終了します。	ファイルシステムエラーにより、ファイルシステムのリストア後の処理に失敗しました。ログとファイルシステムの設定を確認してください。
SCF-00071	プラグイン [%s] のファイルシステム post_restore でエラーが発生しました。終了コード [%s] を終了し、バックアップを続行しています。	ファイルシステムエラーにより、ファイルシステムのリストア後の処理に失敗しました。ただし、APP_IGNORE_ERROR=Y と設定されており、Snap Creator は他の処理を続行します。ログとファイルシステムの設定を確認してください。
SCF-00072	ポリシー [%s] は、設定内で定義されている Snapshot コピー保持ポリシーではありません。終了します。	使用しているポリシーが無効です。構成ファイルをチェックし、NTAP_SNAPSHOT_RETENTIONS が適切に設定されます。

## Snap Creator エージェントのエラーメッセージ

次の表に、 Snap Creator エージェントのエラーメッセージを示します。

エラーコード	説明 / 解決策
AGT-00001	Snap Creator エージェントまたはその他のプロセスが、指定されたポートで実行しています。別のポートを使用してください。
AGT-00003	指定したパラメータは、 Snap Creator エージェントを起動するために正しくありませんでした。必要なパラメータを確認します。
AGT-00004	リモートエージェントを使用する場合は、 SC_AGENT 構成パラメータを定義する必要があります。
AGT-00005	休止処理を連続して実行することはできません。すでに休止が実行中です。待機するか休止解除を実行します。

エラーコード	説明 / 解決策
AGT-00006	watchdog プロセスが起動できません。システムのプロセス数が最大数に達している可能性があります。構成ファイルで watchdog を無効に設定するか、またはオペレーティングシステムの設定をチェックしてください。
AGT-00008	休止および休止解除の処理が完了せず、バックアップは crash-consistent のみとなります。ログをチェックしてください。このエラーは、休止処理に時間がかかり、 watchdog を使用している場合に発生することがあります。 watchdog プロセスは、構成ファイルで定義される x 秒後に休止解除を強制的に実行します。
AGT-00009	エージェント側の agent.conf で PRE および POST のコマンドが許可されている必要があります。 agent.conf を更新し '必要なコマンドを許可します
AGT-00010	エージェントは構成ファイルを読み取ることができませんでした。 agent.conf ファイルに対する権限をチェックしてください。
AGT-00011	コマンドがエージェントに送信されましたが、許可されていません。 コマンドを許可するには、 agent.conf を更新します。
AGT-00012	このエラーはプラグインのロード中に発生します。 プラグインと APP_NAME の設定をチェックしてください。
AGT-00013	このエラーは、 プラグイン内で setenv メソッドの実行中に発生します。 プラグインをチェックし、 構文が正しいことを確認してください。

## リポジトリエラーメッセージ

次の表に、リポジトリのエラーメッセージを示します。

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
rep2-01001	グローバル構成が存在しません	global.conf ファイルが configs フォルダにあるかチェックします。

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
rep2-01002	グローバル設定はすでに存在します	global.conf ファイルは configs フォルダにすでに存在します。最初にグローバル構成ファイルを削除するか、既存のファイルを更新してください。
( 2004 年 11 月現在／ repo	グローバル設定の作成に失敗しました。エラー [%s]	configs フォルダに global.conf ファイルを作成できませんでした。Snap Creator を実行しているユーザのディレクトリに対する権限をチェックしてください。
repo -01203.	グローバル設定の更新に失敗しました。エラー [%s] が発生しました。	configs フォルダの global.conf ファイルを更新できませんでした。Snap Creator を実行しているユーザのディレクトリに対する権限をチェックしてください。
repo -01303.	グローバル設定を削除できませんでした。エラー [%s] が発生しました。	configs フォルダ内の global.conf ファイルを削除できませんでした。このファイルが configs フォルダにあるか、または Snap Creator を実行しているユーザのディレクトリに対する権限をチェックします
repo -01403.	グローバル設定のエクスポートに失敗しました。エラー [%s] が発生しました。	configs フォルダの global.conf ファイルを読み取れませんでした。グローバル構成ファイルが削除されているかどうかを確認します。
repo -01503	グローバル構成 [%s] のインポートに失敗しました。エラー [%s]	configs フォルダの global.conf ファイルを更新できませんでした。Snap Creator を実行しているユーザのディレクトリに対する権限をチェックしてください。
repo -01603	グローバル設定を取得できませんでした。エラー [%s] が発生しました。	configs フォルダの global.conf ファイルを読み取れませんでした。グローバル構成ファイルが削除されているかどうかを確認します。
( 2002 年 2 月現在／ repo	プロファイル [%s] はすでに存在します。別の名前を使用してください。	同じ名前のプロファイルがすでに存在します。プロファイルが表示されない場合、ユーザにはこのプロファイルに対する権限がありません。

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
repo -02003	プロファイル [%s] は存在しません	プロファイルの名前が変更されていないか、削除されていないかまた、ユーザにこのプロファイルに対する権限がない可能性があります。
repo_02103 が表示されます	グローバルプロファイル設定 [%s] の作成に失敗しました。エラー [%s]	プロファイルに global.conf ファイルを作成できませんでした。Snap Creator を実行しているユーザのディレクトリに対する権限をチェックしてください。
rep02106	プロファイル設定 [%s] の作成に失敗しました。エラー [%s]	configs フォルダにプロファイルを作成できませんでした。Snap Creator を実行しているユーザのディレクトリに対する権限をチェックしてください。
rep2-02203	プロファイル設定 [%s] の更新に失敗しました。エラー [%s]	configs フォルダ内のプロファイルを更新できませんでした。Snap Creator を実行しているユーザのディレクトリに対する権限をチェックしてください。
repo_2213	プロファイル [%s] の [%s] への名前変更がエラー [%s] で失敗しました。	configs フォルダにあるプロファイルの名前を変更できませんでした。Snap Creator を実行しているユーザのディレクトリに対する権限をチェックするか、すでにプロファイルが削除されたり、名前が変更されていないかチェックします。
repo -02303	プロファイル設定 [%s] の削除に失敗しました	
repo -02403.	プロファイル設定 [%s] のエクスポートに失敗しました。エラー [%s]	
repo -02503	プロファイル設定 [%s] のインポートに失敗しました。エラー [%s]	
rep2-02603	グローバルプロファイルの取得に失敗しました。エラー [%s] が発生しました。	

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
02606	プロファイル [%s] の取得に失敗しました。エラー [%s]	
02703.	プロファイルのリストを作成できませんでした。エラー [%s] が発生しました。	プロファイルの一覧表示に失敗しました configs フォルダのパスをチェックします。
repo_3002	設定 [%s] はプロファイル [%s] に対してすでに存在します。	同じ名前の構成ファイルが指定されたプロファイルに対してすでに存在します。別の名前を選択してください。
03103 と入力します	プロファイル [%s] の設定 [%s] の作成に失敗しました。エラー [%s]	
rep2-03203	設定 [%s] のプロファイル [%s] の更新に失敗しました。エラー [%s]	
repo -03212	構成 [%s] のプロファイル [%s] の名前を [%s] に変更できませんでした	プロファイルの構成ファイルの名前を変更できませんでした。構成ファイルが名前変更または削除されていないかチェックし、 Snap Creator を実行しているユーザのディレクトリに対する権限をチェックしてください。
03303	構成 [%s] をプロファイル [%s] から削除できませんでした	configs フォルダにあるプロファイルから構成ファイルを削除できませんでした。 Snap Creator を実行しているユーザのディレクトリに対する権限をチェックしてください。
03403 と報告されています	プロファイル [%s] の設定 [%s] のエクスポートに失敗しました。エラー [%s] が発生しました。	
03503	設定 [%s] をプロファイル [%s] にインポートできませんでした。エラー [%s] が発生しました。	
03603.	構成 [%s] をプロファイル [%s] から取得できませんでした。エラー [%s] が発生しました。	

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
03703	プロファイル [%s] の設定のリストを作成できませんでした。エラー [%s] が発生しました。	
repo_04003 が表示されます	プロファイル [%s]、構成 [%s]、およびタイムスタンプ [%s] のカタログの読み取りに失敗しました。 エラー [%s] が発生しました。	
repo_04103	プロファイル [%s]、構成 [%s]、およびタイムスタンプ [%s] のカタログの書き込みに失敗しました。 エラー [%s] が発生しました。	
( 2004 年 4 月現在／ 203	プロファイル [%s]、構成 [%s]、およびタイムスタンプ [%s] のカタログをページできませんでした。 エラー [%s] が発生しました。	
repo_04303	プロファイル [%s] と構成 [%s] のインベントリカタログがエラー [%s] で失敗しました。	
( 2004 年 4 月現在／ repo	設定 [%s] は存在しません	
repo_04309	ポリシーオブジェクトの追加に失敗しました [%s]	データベースエラー。詳細についてはスタックトレースを確認してください。
repo -04313	ポリシー ID %s のポリシーオブジェクトを削除できませんでした	データベースエラー。詳細についてはスタックトレースを確認してください。
repo -04315	ポリシーオブジェクトの更新に失敗しました： %s	データベースエラー。詳細についてはスタックトレースを確認してください。
repo -04316	ポリシーをリストできませんでした	データベースエラー。詳細についてはスタックトレースを確認してください。
(04321)	バックアップタイプオブジェクト [%s] の追加に失敗しました。	データベースエラー。詳細についてはスタックトレースを確認してください。

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
repo_04323	バックアップタイプ ID : %s のバックアップタイプエントリが存在しません	有効なバックアップタイプを指定してください。
repo -04325	バックアップタイプ ID %s のバックアップタイプオブジェクトを削除できませんでした	データベースエラー。詳細についてはスタックトレースを確認してください。
repo_04327	バックアップタイプオブジェクトを更新できませんでした : %s	データベースエラー。詳細についてはスタックトレースを確認してください。
repo_04328	バックアップタイプをリストできませんでした	データベースエラー。詳細についてはスタックトレースを確認してください。
repo -04333	スケジューラジョブオブジェクト [%s] の追加に失敗しました。	データベースエラー。詳細についてはスタックトレースを確認してください。
repo -04335	ジョブ ID : %s のスケジューラジョブエントリが存在しません	有効なスケジューラジョブを渡します。
repo -04337	ジョブ ID %s のスケジューラジョブオブジェクトを削除できませんでした	データベースエラー。詳細についてはスタックトレースを確認してください。
repo -04339	スケジューラジョブオブジェクトの更新に失敗しました : %s	データベースエラー。詳細についてはスタックトレースを確認してください。
repo -04340	スケジューラジョブをリストできませんでした	データベースエラー。詳細についてはスタックトレースを確認してください。
repo_04341	ポリシーオブジェクトの追加に失敗しました。同じ名前のポリシー [%s] がすでに存在します	同じ名前のポリシーがすでに存在します。別の名前でやり直してください。
repo_04342	バックアップタイプオブジェクトの追加に失敗しました。同じ名前のバックアップタイプ [%s] がすでに存在します	同じ名前のバックアップタイプがすでに存在します。別の名前でやり直してください。

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
repo_04343	スケジューラオブジェクトの追加に失敗しました。同じタスク名のスケジューラ [%s] がすでに存在します	
repo_04344	プロファイル [%s] の更新に失敗しました。プロファイルが空です。	
repo -04345	新しいポリシーを追加する場合、ポリシータイプを null にすることはできません	
repo_04346	ストレージオブジェクトを null にすることはできません	
(04347)	ストレージオブジェクトの追加に失敗しました。同じ名前 / IP のストレージ [%s] がすでに存在します	
repo -04348	ストレージの詳細を読み込めませんでした。データベースエラー！	
( 2004 年 4 月現在／ 349	無効なホスト名です。ホスト名 / IP [%s] のストレージは存在しません	
repo -04350	ホスト名を null にすることはできません	無効なホスト名です
repo_04351	ストレージ [%s] の削除に失敗しました。エラー [%s]	ストレージを削除できませんでした。データベースエラー！
repo_04355	ストレージ [%s] の更新に失敗しました。エラー [%s]	ストレージを更新できませんでした。データベースエラー！
repo_04356	クラスタオブジェクトを null にすることはできません	
repo_04358	ストレージ [%s] の追加に失敗しました。エラー [%s]	
repo -04359	クラスタ [%s] の更新に失敗しました。エラー [%s]	

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
repo_04360	クラスタオブジェクトの追加に失敗しました。同じ名前 / IP のクラスタ [%s] がすでに存在します	同じホスト名のクラスタがすでに存在します

## ストレージエラーメッセージ

ストレージ関連のエラーメッセージは、発生した問題のトラブルシューティングに役立ちます。

次の表に、エラーコードとメッセージ、およびエラーの簡単な概要と推奨される解決策を示します。

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
ストレージ-00001	日付形式 [%s] は無効です : [%s]	ボリュームクローンが Snap Creator によって作成されていないか、クローン名に付加されたタイムスタンプが無効です。
ストレージ-00002	実行者を取得できません	ストレージに対して実行者が作成されていません。ログをチェックして、NetApp Manageability エラーがないか確認します。問題の原因が表示される可能性があります。
ストレージ-00003	ホストに接続できません	ホストにアクセスできません。ローカルのファイアウォールが正しく設定されていること、および Snap Creator サーバがインストールされたシステムからホストが ping を実行できることを確認します。
ストレージ-01003	イベント ID [%s]、カテゴリ [%s]、概要 [%s]、レベル [%s]、ホスト名 [%s] の AutoSupport メッセージを作成できませんでした。エラー [%s] が発生しました。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
( 2004 年 10 月現在 / Storage	ファイルをリストアするには、ソースボリュームとデスティネーションボリュームが同じボリュームである必要があります。	ソースボリュームとデスティネーションボリュームが異なります。ソースボリュームとデスティネーションボリュームに同じボリュームを指定してください。
ストレージ-02003	整合グループの Snapshot コピー [%s] のボリューム [%s] での作成に失敗しました。エラー [%s] があります。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
ストレージ-02006	整合グループの Snapshot コピーを [%s] に CG ID [%s] でコミットできませんでした。エラー [%s] が発生しました。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
ストレージ-02009	Snapshot コピー [%s] のボリューム [%s] での作成に失敗しました。エラー [%s]	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
ストレージ-02015	Snapshot コピー [%s] のボリューム [%s] の削除に失敗しました。エラー [%s]	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
storage - 02021	ボリューム [%s] の Snapshot コピー [%s] のリストアに失敗しました。エラー [%s]	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
Storage - 02025	ファイル [%s] を Snapshot コピー [%s] から [%s] にリストアできませんでした。エラー [%s] が発生しました。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
Storage - 02028	プライマリ SnapVault Snapshot コピー・スケジュール [%s] のボリューム [%s] での作成に失敗しました。エラー [%s]	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
Storage - 02034	プライマリ SnapVault Snapshot コピーのスケジュールをボリューム [%s] から削除できませんでした。エラー [%s] が発生しました。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
storage - 02038	Snapshot コピー [%s] に基づいてボリューム [%s] のクローン [%s] を作成できませんでした。エラー [%s] が発生しました。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
Storage - 02041	Snapshot コピー [%s] に基づいて、ボリューム [%s] から [%s] にファイル [%s] をクローンングできませんでした。エラー [%s] が発生しました。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
Storage - 02043	パス [%s] のファイルのリストを作成できませんでした。エラー [%s] が発生しました。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
storage - 02046 のようになりました	スペースリザベーション [%s] での Snapshot コピー [%s] に基づいて LUN [%s] を [%s] にクローニングできませんでした。エラー [%s] が発生しました。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
Storage - 02049	LUN [%s] をボリューム [%s] から削除できませんでした。エラー [%s] が発生しました。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
Storage - 02052	LUN のリストを表示できませんでした。エラー [%s] が発生しました。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
ストレージ -02062	NFS エクスポート [%s] (ホスト名 [%s]、アクセス [%s]) の追加に失敗しました。エラー [%s]	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
Storage - 02072	コントローラ [%s] で SnapMirror ステータスを取得できませんでした。エラー [%s] が発生しました。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
Storage - 02075	コントローラ [%s] で SnapMirror 関係を取得できませんでした。エラー [%s] が発生しました。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
storage - 02082	SnapMirror 関係 [%s] を Snapshot コピー [%s] に基づいて更新できませんでした。エラー [%s] が発生しました。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
Storage - 02092	ボリューム [%s] の Snapshot コピーのリストを作成できませんでした。エラー [%s] が発生しました。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
storage - 02102	Snapshot コピー [%s] のボリューム [%s] から [%s] への名前変更に失敗しました。エラー [%s]	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
ストレージ -02112.	コントローラ [%s] で SnapVault ステータスを取得できませんでした。エラー [%s] が発生しました。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
ストレージ -02115	コントローラ [%s] で SnapVault 関係を取得できませんでした。エラー [%s] が発生しました。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
ストレージ -02122	SnapVault 関係 [%s] を Snapshot コピー [%s] に基づいて更新できませんでした。エラー [%s] が発生しました。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
ストレージ -02132	ボリューム [%s] に基づいてクローンボリュームのリストを作成できませんでした。エラー [%s] が発生しました。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
ストレージ -0142	ボリューム [%s] の削除がエラー [%s] で失敗しました。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
storage - 02152	ボリュームのリストを表示できませんでした。エラー [%s] が発生しました。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
ストレージ -02155	ボリューム [%s] のリスト表示に失敗しました。エラーメッセージ [%s]	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
ストレージ -02162	ボリューム [%s] の Snapshot コピー [%s] のリストアに失敗しました。エラー [%s]	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
ストレージ-03001	clustered ONTAP ノード [%s] から SVM を取得しています。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
ストレージ-05003	NetApp Management Console データセット [%s] の作成に失敗しました。エラー [%s]	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
ストレージ-05006.	データセット [%s] の NetApp Management Console ベースのバックアップをストレージコントローラ [%s] で作成できませんでした。エラー [%s]	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
ストレージ-05009.	データセット [%s] の NetApp Management Console データセットステータスの取得に失敗しました。エラー [%s]	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
storage -05012.	NetApp Management Console データセット [%s] の検証に失敗しました。エラー [%s] があります。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
storage -05018	OM イベント [%s] を [%s] に作成しています。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
ストレージ-03002	igroup [%s] の LUN [%s] へのマッピングに失敗しました。エラー [%s] が発生しました。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
ストレージ-03005.	LUN [%s] をボリューム [%s] に作成できませんでした。エラー [%s] が発生しました。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
ストレージ-03008.	プライマリ SnapVault Snapshot コピー [%s] のボリューム [%s] での作成に失敗しました。エラー [%s]	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
Storage - 03011.	データセット [%s] の NetApp Management Console バックアップ コピーをリストしていますが、エラー [%s] で失敗しました。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
Storage - 03014	NetApp Management Console バックアップバージョン ID [%s] の削除がエラー [%s] で失敗しました。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
Storage - 03019	[%s] ([%s]) の NetApp Management Console バックアップ の開始に失敗しました。終了します。	ログにエラーがないかどうかを確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
Storage - 03022	ジョブ ID [%s] の NetApp Management Console バックアップ の進行状況の開始に失敗しました。終了します。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
保管 - 03025	パス [%s] のファイルの削除がエラー [%s] で失敗しました。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
保管期間： 03030	[%s] で clustered Data ONTAP ノードの検出に失敗しました	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
保管 - 03033	[%s] のシステムバージョンの詳細を取得できませんでした。エラー [%s] が発生しました。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
保管 - 03036	パス [%s] でのディレクトリの作成に失敗しました。エラー [%s]	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
保管 - 03039	パス [%s] のディレクトリの削除に失敗しました。エラー [%s]	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
Storage - 03043	パス [%s] でのファイルの作成に失敗しました。エラー [%s]	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
storage - 03046	データセット [%s] の NetApp Management Console データセットの変更に失敗しました。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
保管 - 03049	ファイル [%s] のファイルコンテンツを読み取れませんでした	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
保管 - 03052	オプション [%s] の取得に失敗しました	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
保管 - 03055	オブジェクト [%s] のパフォーマンスカウンタの取得に失敗しました	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
保管 - 03058	オブジェクト [%s] のパフォーマンスインスタンスの取得に失敗しました	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
ストレージ -03061	[%s] の NetApp Management Console データセット情報に失敗しました	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
Storage - 03064	システム CLI コマンド [%s] が失敗しました	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
Storage - 03067	NetApp Management Console データセット [%s] の削除に失敗しました。エラー [%s]	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
保管 - 03070	SnapVault 関係 [%s] を Snapshot コピー [%s] に基づいてリストアできませんでした。エラー [%s] が発生しました。	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
保管 -03073		ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
保管 - 03076	コントローラ [%s] でルートボリュームの取得に失敗しました。エラー [%s]	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
保管 - 03079	ボリューム [%s] のジャンクションパスの取得に失敗しました	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
保管 -03082	システム名を取得できませんでした	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
Storage - 03085	コントローラ [%s] での NFS サービスの取得に失敗しました	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
storage - 03088	ホスト [%s] のパス名 [%s] の権限 [%s] の NFS 権限チェックに失敗しました	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
storage - 03091.	コントローラ [%s] でのネットワークインターフェイスの取得に失敗しました	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。
Storage - 03094	ボリューム [%s] の qtree リストに失敗しました	ログを参照してエラーがないか確認します。NetApp Manageability エラーが発生している可能性があります。ログに問題の原因が記録されている可能性があります。

エラーコード	エラーメッセージです	説明 / 解決策
Storage-04119	SVMのリストを表示できませんでした。エラーが	ログを参照してエラーがないか確認します。問題の原因を示すManage ONTAP 解決策 エラーが表示される場合があります。
vserver_tunnel_enabledというコマンドを実行します	(はい / いいえ)	vsim トンネリングを設定します。Yに設定すると、vsim トンネリング機能が有効になります。

## Snap Creator の GUI エラーメッセージ

次の表に、 Snap Creator の GUI エラーメッセージを示します。

エラーコード	説明 / 解決策
GUI-00001	構成ファイル内の暗号化されたパスワードが正しいことを確認してください。
GUI-00002	正しい Snap Creator 実行ファイルを使用していることを確認してください。/etc/snapcreatorgui.conf が正しいことを検証してください。
GUI-00003	ログと対応するプロファイルフォルダが存在することを確認してください。
GUI-00004	Snap Creator の home/logs/profilename が存在するかチェックします。
GUI-00005	対応するプロファイルと構成ファイルが configs ディレクトリにあるかチェックします。
GUI-00006	snapcreatorgui.conf ファイルがない場合は、snapcreator profile setup を実行してください。
GUI-00007	構成ファイルが名前変更または削除されているかどうかを確認します。
GUI-00008	ユーザ名およびパスワードをチェックし、snapcreator profile setup コマンドを実行したか確認してください。
GUI-00009	ファイルまたはフォルダに対する権限が存在するかどうかを確認してください。

エラーコード	説明 / 解決策
GUI-00010	ファイルまたはフォルダに対する権限が存在するかどうかを確認してください。
GUI-00011	別のプロファイルを選択するか、既存のプロファイルを削除してください。
GUI-00012	configs ディレクトリがあるか、および snapcreator profile setup コマンドを実行したか確認します。
GUI - 00013	詳細についてはログを確認してください。
GUI - 00014	構成ファイルを閉じて、もう一度開きます。
GUI-00015	ファイルに対する権限をチェックし、ファイルが存在するかどうかを確認してください。
GUI-00017	vCenter が正しく、有効なデータセンターがあるかどうかを確認します。
GUI - 00019	再試行してください。取得中にデータストアが削除された可能性があります。
GUI - 00020	再試行してください。取得中にデータストアが削除された可能性があります。
GUI-00021	再試行してください。 vCenter が正しいことを確認してください。
GUI-00022	vCenter にデータストアを追加してください。
GUI-00023	再試行してください。 vCenter を確認してください。
GUI-00024	使用している vCloud Director のバージョンはサポートされていません。
GUI - 00025	正しいクレデンシャルを入力してやり直してください。
GUI-00026	vCD の組織が見つかりません。組織を作成して再試行してください。
GUI - 00027	vCenter クレデンシャルを確認します。

エラーコード	説明 / 解決策
GUI-00028	コントローラの詳細 / NTAP_USERS をチェックしてください。
GUI-00029	vCloud Director の URL を確認してください。
GUI - 00030	組織の vDC が存在するかチェックしてください。
GUI-00031	vDC の vApps が存在するかチェックしてください。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。